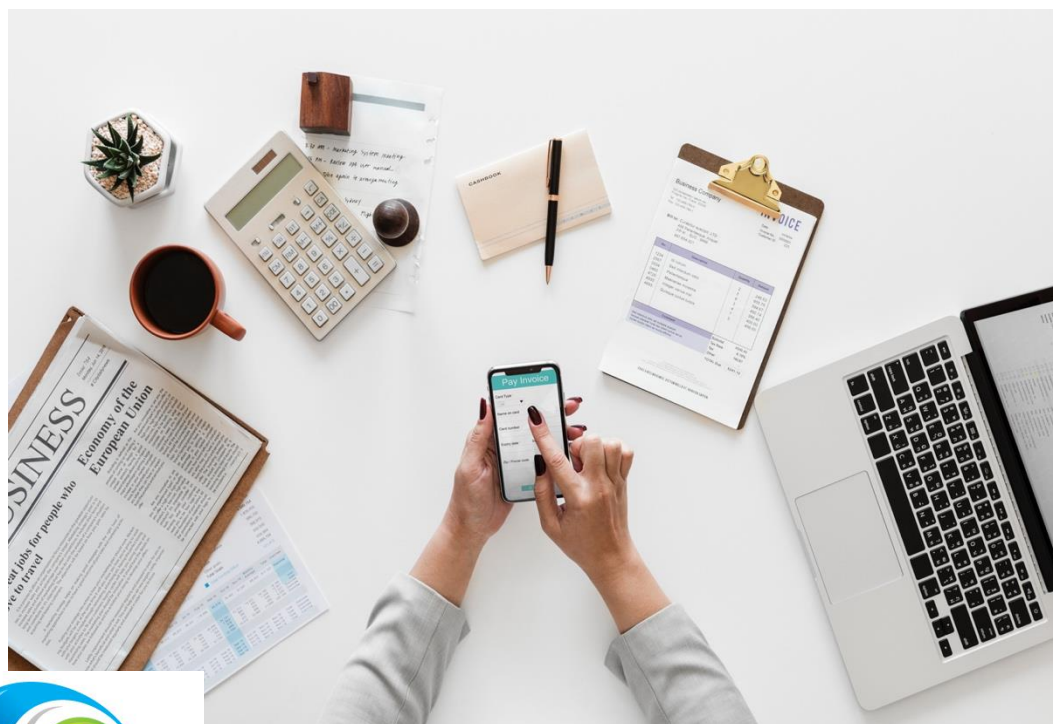


経済産業省・厚生労働省認定のデジタルスキル人材育成講座

ビジネスアーキテクト・DX推進リーダー 育成講座ガイド



- 経産省、IPA情報処理推進機構が推進するデジタルスキル標準に基づく人材育成、Reスキル認定講座です
- DX推進リーダーとして2つのビジネススキル認定を同時に取得できます
 - **ビジネスアーキテクト認定**
 - **LSS GB または DFSS GB 認定**
- 受講費用は**最大70%が給付金**として支給されます（厚労省 教育訓練支援制度適用）
- 講義は全てオンライン、学ぶ場所と時間は自由、業務の隙間時間を活用できます



LSS e-learning

ライズマネジメント株式会社、株式会社 T&P Solutions



Reスキル講座

2つの講座とカリキュラム

2 つ の 講 座



講座名称

LSS GB*、業務変革とDX推進リーダー育成講座

経済産業省 第4次産業革命スキル習得講座認定番号 50613-1141
厚生労働省 専門実践教育訓練講座 指定番号 1312030-2410011-3

講座名称

DFSS GB**、プロセスデザインとDX推進リーダー育成講座

経済産業省 第4次産業革命スキル習得講座認定番号 50613-1142
厚生労働省 専門実践教育訓練講座 指定番号 1312030-2410021-6

- 「**第四次産業革命スキル習得講座認定制度**」は、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、**専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度**です（経産省ウェブページより）。
- 弊社が提供する2つのDX推進リーダー育成講座は、この制度に基づき**経済産業大臣より認定**されたものです。
- 上記講座は**専門実践教育訓練として厚生労働大臣より指定**を受け、受講者は「教育訓練給付制度」、企業は「人材開発支援助成金」の助成対象となります。

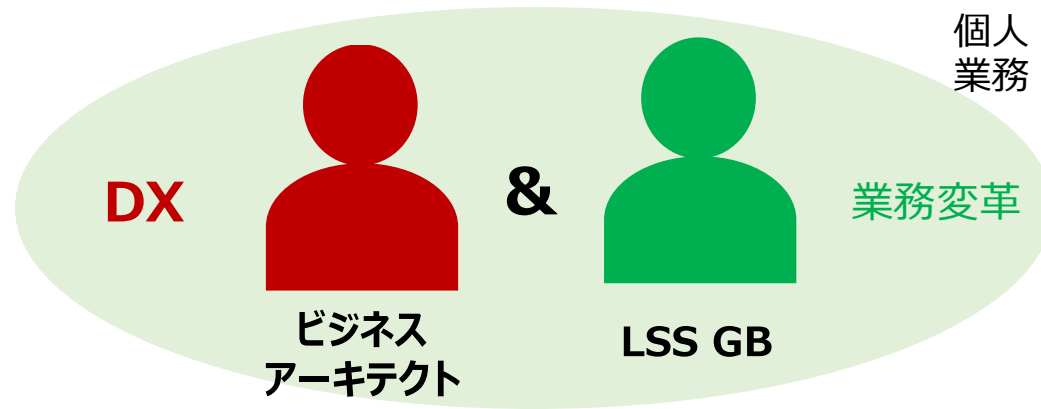
*LSS: Lean Six Sigma Green Belt

**DFSS GB: Design for Six Sigma Green Belt

令和6年（2024年）4月1日現在

2つの講座と取得できるスキル認定

LSS GB^{*}、業務変革とDX推進リーダー育成講座

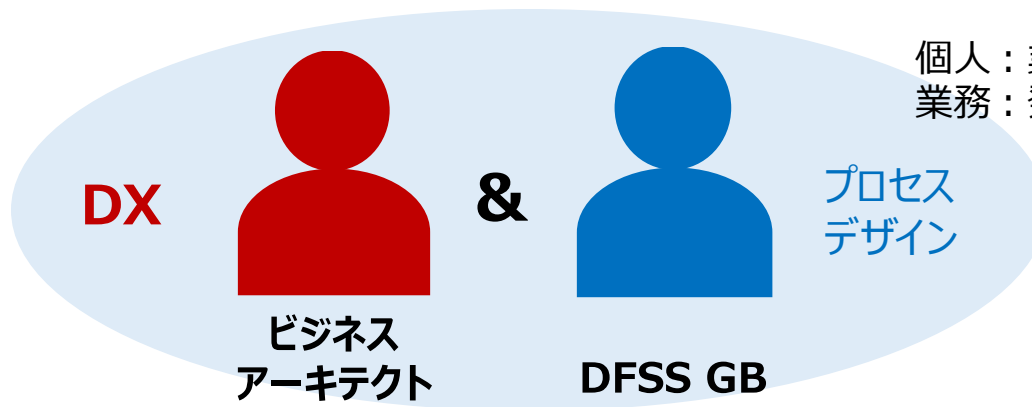


個人：業務改善の基礎から学びたい方向け
業務：業務改善からスタートし、DX実施

当講座では、
DX推進リーダーとして
2つのスキル認定をします

- ・ビジネスアーキテクト
と
- ・LSS GB または
DFSS GB

DFSS GB^{**}、プロセスデザインとDX推進リーダー育成講座



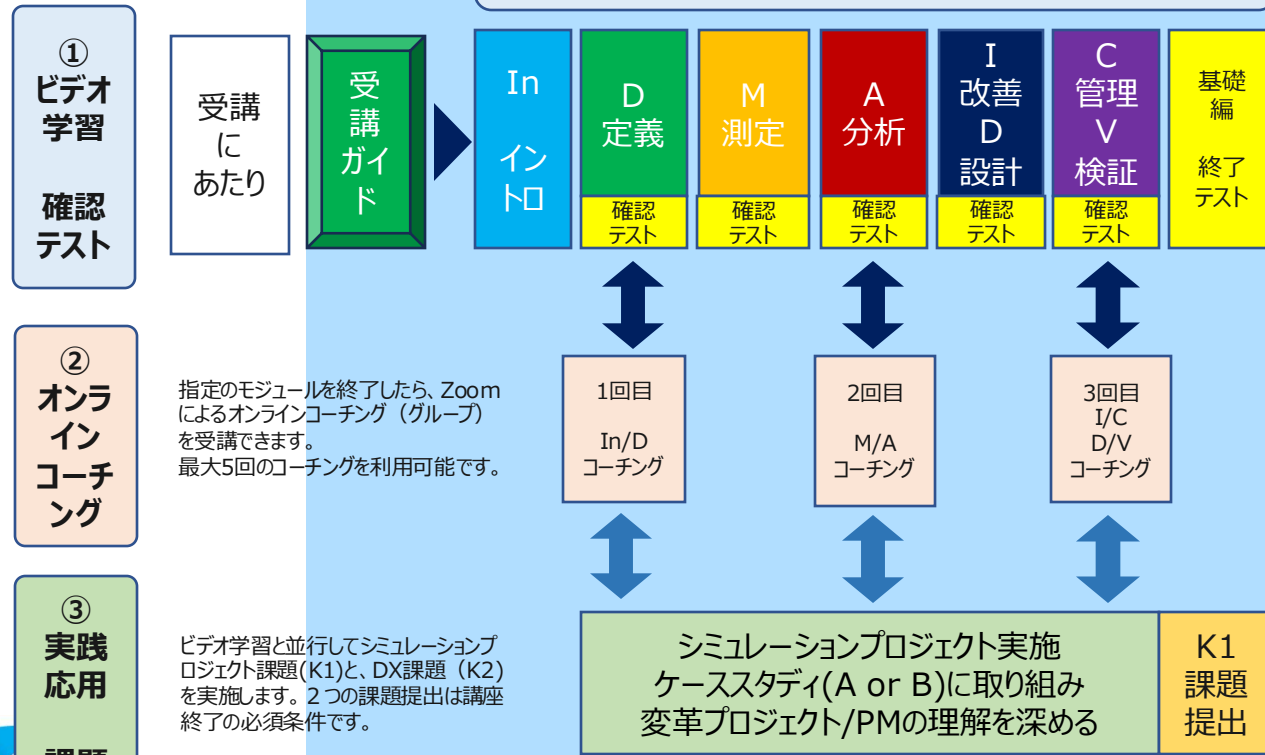
個人：業務改善の経験はある方向け
業務：発展的なプロセスデザインとDX実施



カリキュラムの全体マップ

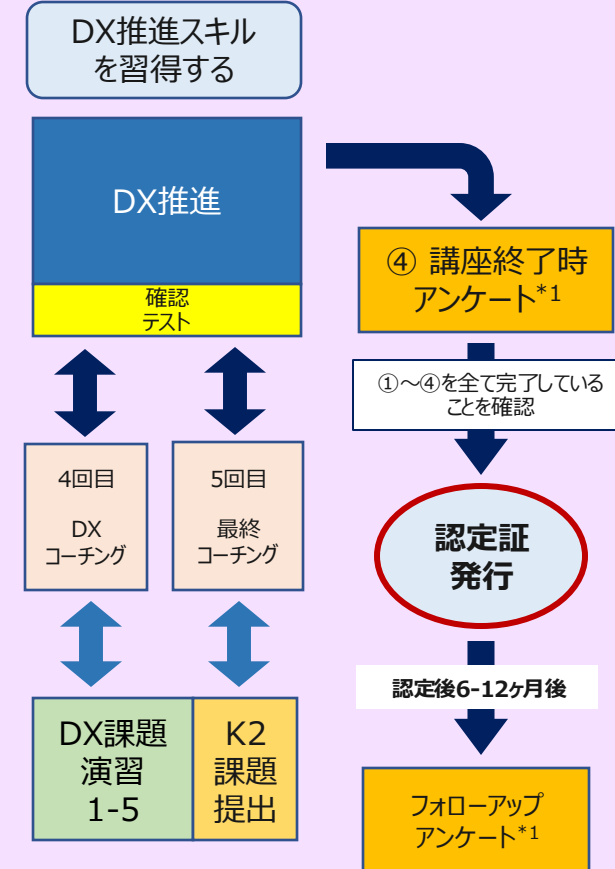


ベーシックセッション



K1, K2課題は、講師による採点とフィードバックがあります。
講座が求める理解度基準に満たない場合は、再提出をお願いしています。

アドバンストセッション



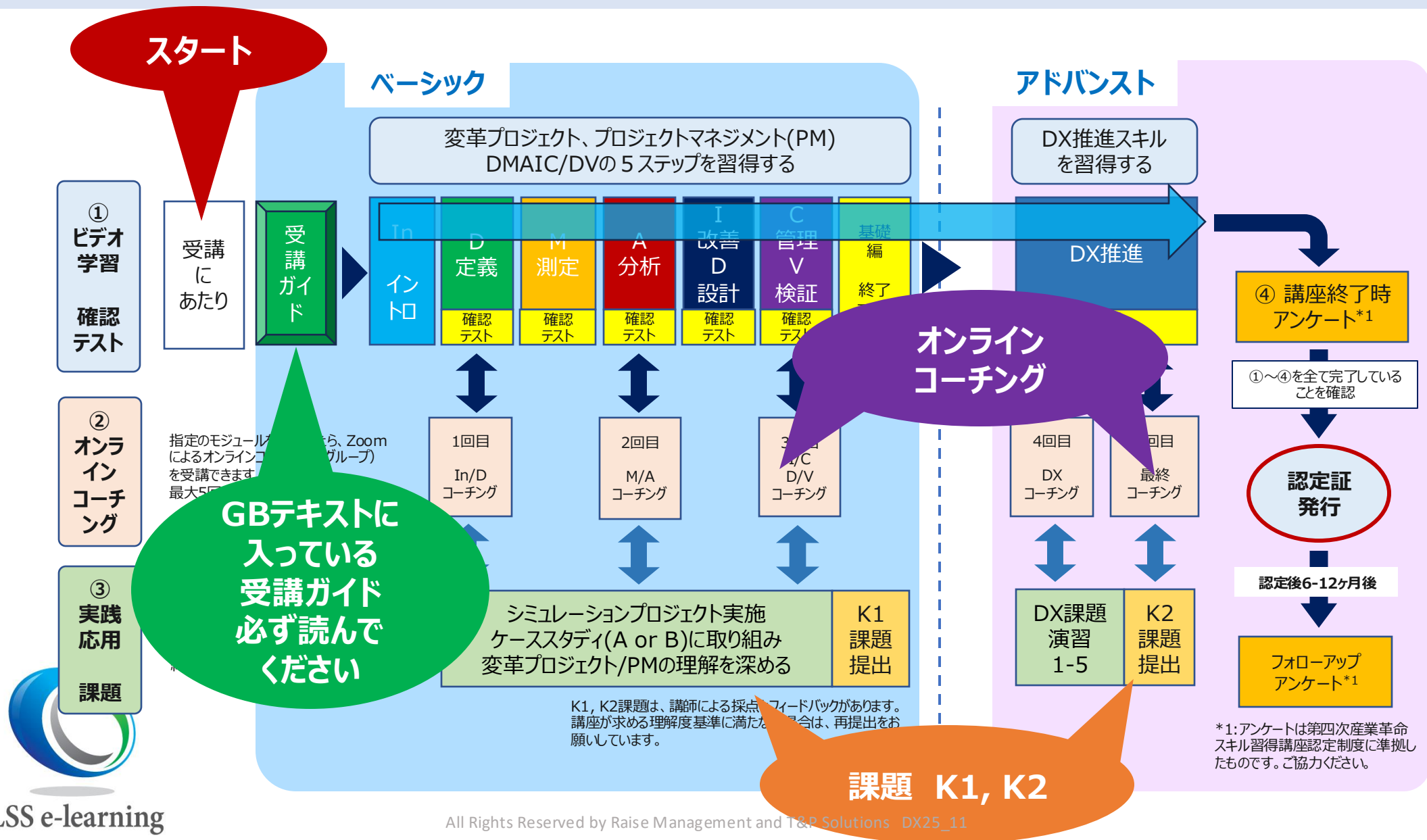
*1: アンケートは第四次産業革命
スキル習得講座認定制度に準拠し
たものです。ご協力ください。



イーラーニング 講座受講の仕方



2.3 DX推進リーダー育成講座 カリキュラムの全体像

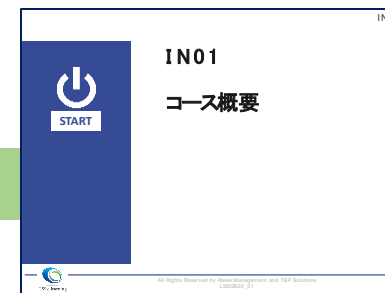
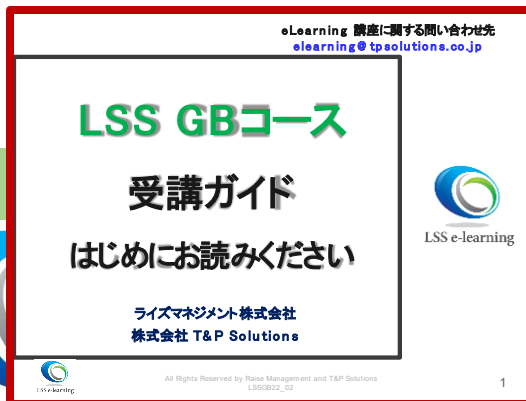


GBテキストに 入っている 受講ガイド



講座受講の仕方 1/3

- **ベーシックセッション**
LSS DMAIC（緑のファイル）
DFSS DMADV（青のファイル）
 それぞれのファイルがテキストです。
- はじめに「受講ガイド」を必ず確認ください
- ビデオ学習、確認テスト、実践応用課題があります。忘れず実施ください。



LSS GB/DFSS GB講座を単独受講している方もいます。説明が重複している部分がありますので、ご了承願います。

講座受講の仕方 2/3

課題 K1, K2



課題提出が無い場合、また提出された課題内容が講義で設定されたレベルに到達していない場合、講師より再提出をお願いしています。必ず提出してください。



● ベーシックセッション 業務変革の5ステップ

シミュレーションプロジェクト実施
ケーススタディ(A or B)に取り組み
変革プロジェクト/PMの理解を深める

**K1
課題
提出**

- 受講ガイドをよく読み、シミュレーションプロジェクトを実施し、課題K1を提出ください。

● アドバンストセッション DX推進スキル

DX課題演習 1-5

**K2
課題提出**

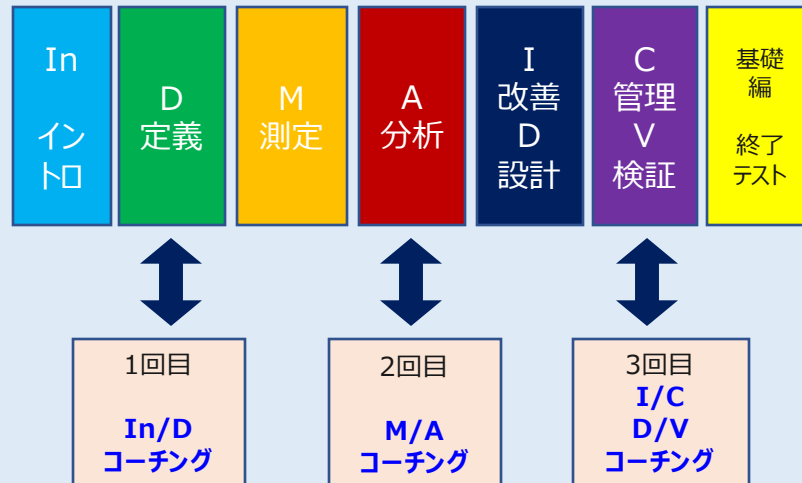
- ビデオ学習中の解説を参考に課題を実施し、課題K2を提出ください。

講座受講の仕方 3/3

オンライン コーチング

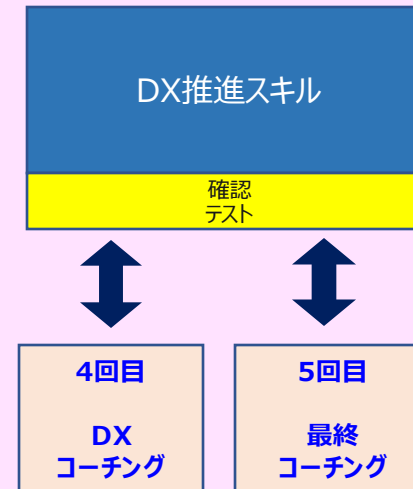
予約制によるグループ・オンラインコーチング

- ベーシックセッション
- 3回のオンラインコーチングを利用できます

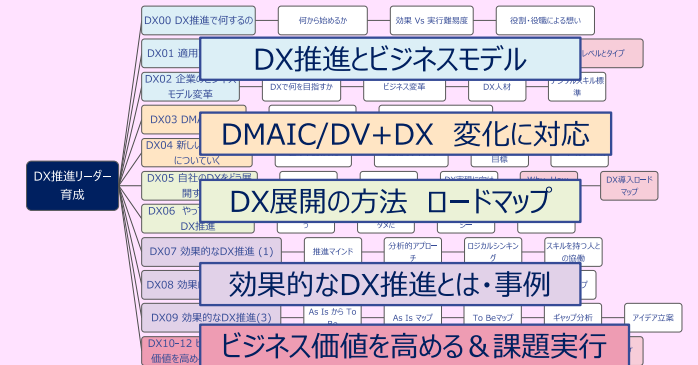


3回のコーチングは、受講したセッションの振り返りと確認が中心となります。Q&Aにより学びを深めることも目的です。

- アドバンストセッション
- 2回のオンラインコーチングを利用できます



2回のコーチングは、DX推進スキルに関すること、DX展開ロードマップや課題に関すること、Q&Aです。有効に活用ください。

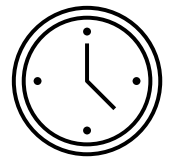
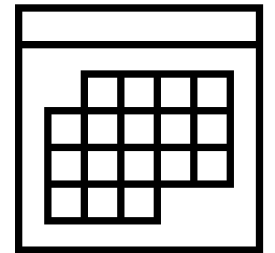


オンライン コーチング

講座受講の仕方 3/3

予約制によるグループ・オンラインコーチング

- オンラインコーチングは、ZOOMを利用したグループコーチングです。
- 自動車教習所の学科受講のように、5種類の開催日時をウェブに掲載します。ビデオ学習、講座受講の進捗に合わせ、前日までに予約を行い、コーチングに参加ください。1回のコーチングは約60分です。
- ベーシックセッション（LSS GB/DFSS GB）では3回、アドバンストセッション（DX推進）では2回のオンラインコーチングを利用できます。ビデオ学習、課題実施と並行して、有効にご活用ください。
- オンラインコーチング申し込み予約方法は、受講開始後に別途メールなどでお知らせいたします。



ベーシックセッション
と
アドバンストセッション



ベーシックセッションについて

LSS「業務変革の5ステップ」 DMAIC を学ぶ
または
DFSS「プロセスデザインの5ステップ」 DMADV を学ぶ



①ビデオ（動画）学習、②オンラインコーチング
③シミュレーションプロジェクト（実践応用・課題提出）、終了テスト

ビデオ
学習

- DMAIC または DMADVの5ステップと各種リーントールを習得します
- DXに活用できるプロジェクトマネジメント、ロジカルシンキングを習得します

コーチ
ング

- オンラインコーチング（グループ）を利用できます（3回）
- 講師と直接会話でき、Q&Aやアドバイスを受けられます

実践
応用

- シミュレーションプロジェクトを実施
- ケーススタディーでツールの使い方、学びを深めます（課題提出あり）

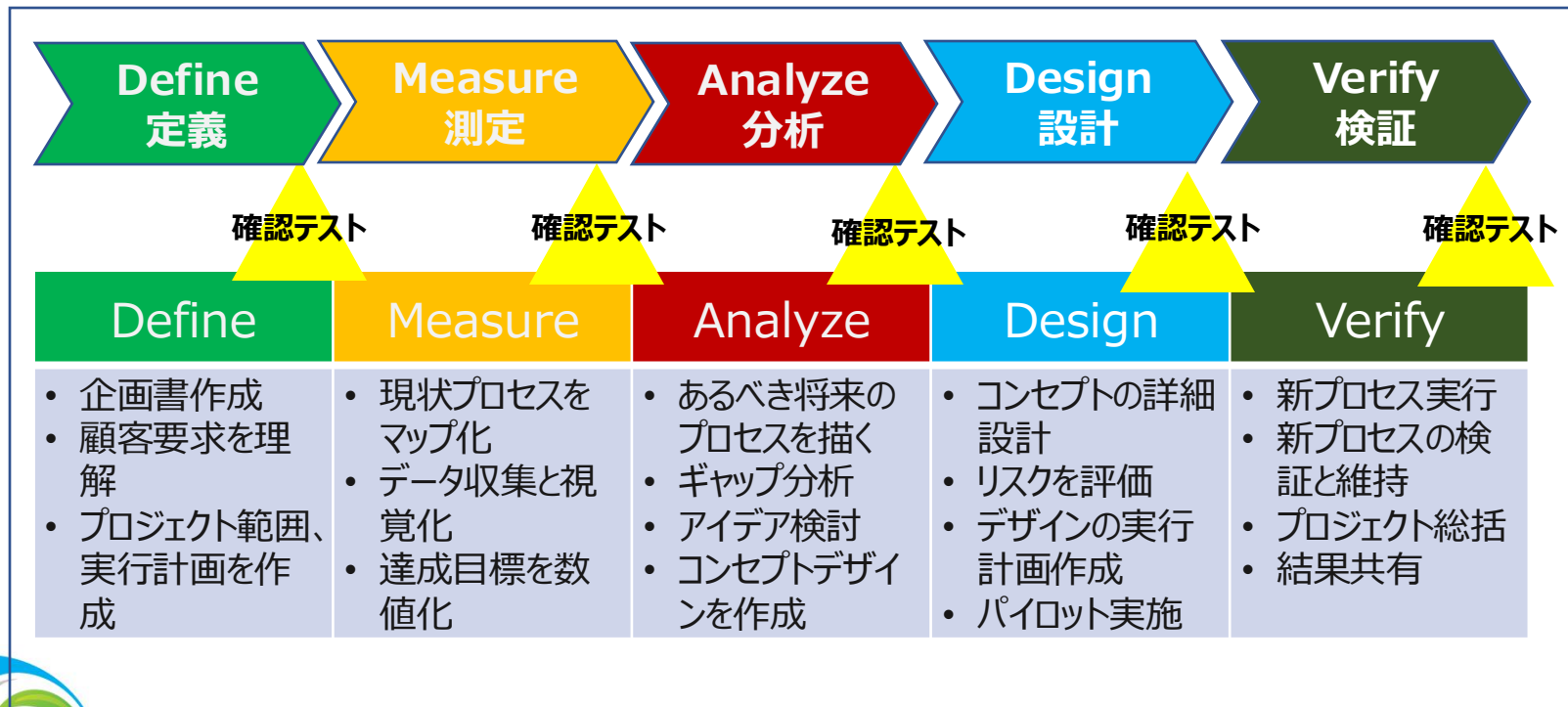
終了
テスト

- テストは 正解率80%以上で合格、ベーシックセッション終了
- DMAIC or DMADV GB認定



ビデオ
学習

- ビデオ（動画）によるコンテンツ（約5-15分）が約60本になります。
- DMADV または DMAIC を順番に受講します。
- 各フェーズの最後には理解度確認のテストが付いています。



上記説明図はDMADVのもので、
進め方はDMAICも同様です。

学習の効果

- DMAIC/DMADVは、業務変革、プロセスデザインなど、DX推進の基礎となります。As-Is プロセスを整理し、ロジカルシンキングを用いて、To-Be プロセスを構築します。
- 製造部門、営業、マーケティング、物流、IT、サービス、間接部門など、多くの部門で活用いただけます。



実践
応用

- 学んだツールをケーススタディーの中で確認し、理解を深めます。
- 製造系と営業系・ビジネスプロセス系を用意、受講者に近い業務を選択できます。
- プロジェクト経験がなくても、プロジェクトリーダーを疑似体験し、課題を1つ実施します。

DMAICのケーススタディー

ケーススタディー A

BMS ライズ製薬
“中堅医薬品工場の
生産性向上”

情報ガイド



LSS e-learning



- 営業系
「IT企業の営業、システム
開発、実装までの迅速
化」

ケーススタディー B

BMS ジャパンRT
“IT企業の営業、システム開発、
実装までの迅速化”

情報ガイド



LSS e-learning



- 製造系
「中堅医薬品工場の生産
性向上」

DMADVのケーススタディー

eDMADV

ケーススタディー A

老舗国際ホテルの
運営プロセス再構築
＜ブライダル部門＞
Redesigning the operational
process of a long-established
international hotel
＜Bridal Division＞

情報ガイド



LSS e-learning



- ビジネスプロセス系
「老舗国際ホテルの運営
プロセス再構築」

eDMADV

ケーススタディー B

SFOジャパン
“歯磨き粉受注生産の
プロセス刷新”

情報ガイド



LSS e-learning



- 製造系
「歯磨き粉受注生産プロ
セス刷新」

終了 テスト

- DMAIC/DMADV 全てのモジュールを終了すると、全体理解度を確認する、GB認定のための「終了テスト」を受講します。
- ランダムに30問、制限時間は90分、**正解率80%以上**で合格です。

実際の設問と回答画面

問題 (Analyzeフェーズ理解度確認テスト)

analyze (分析) > 問題 (Analyzeフェーズ理解度確認テスト)

Analyze T05 Q 2 / 10

解答欄 (次の中から正答と思われるものを1つ選択してください。)

平均値検定ではないものはどれか

1 1-サンプルt

2 2-サンプルt

3 ANOVA

4 カイ(x2)二乗

前に戻る

次に進む

Define (定義) > 採点 (Defineフェーズ理解度確認テスト)

採点結果

90% 70% 100%

合格

おめでとうございます。目標正答率 (70%) を達成しました。解答ありがとうございました。

解答結果一覧

問題タイトル
問1 Define T03
問2 Define T04
問3 Define T05
問4 Define T10
問5 Define T01
問6 Define T02
問7 Define T07
問8 Define T08

Lean Six
Sigma GB



Design for Six
Sigma GB



LSS e-learning

当講座はDX推進リーダー育成講座です。原則として、アドバンス講座を含め、全て修了（完了）した時点でビジネスアーキテクトと、LSS GBまたはDFSS GBの認定となります。

アドバンストセッションについて

DX推進スキルを学ぶ

①ビデオ（動画）学習、②オンラインコーチング ③実践応用（実務を想定した課題演習）の3つで構成

ビデオ 学習

- 業務変革の5ステップに合わせたDX推進を習得します
- 自社だったらどう展開するか、推進マインド、テーマを見つける、分析的アプローチ手法を習得します

コーチ ング

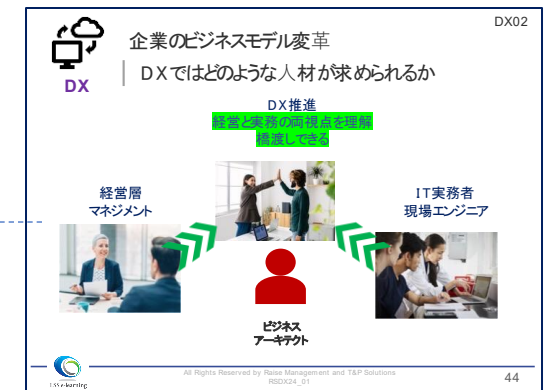
- オンラインコーチング（グループ）を利用できます（2回）
- 講師と直接会話でき、Q&Aやアドバイスを受けられます

実践 応用

- 5つの課題演習を実施
- ビジネスアーキテクトとして自組織でDX推進することを想定し、分析とロードマップを作成します
- 効果的なDXの実行 事例研究・紹介をします

終了 テスト

- テストは正解率80%以上で合格、アドバンストセッション 終了



ビデオ 学習

- ビデオ（動画）によるコンテンツ（約20-25分）が約13本になります。
- DX推進に必要な知識とスキルを、実践事例を通じて学びます。
- 個別のITリテラシーやIT技術ではなく、**ビジネスアーキテクトとしてDXを推進するために必要な知識とスキル習得を目的**としています。

アドバンスト
セッションで
学ぶ項目

DX推進とビジネスモデル

DMAIC/DV+DX 変化に対応

DX展開の方法 ロードマップ

効果的なDX推進とは・事例

ビジネス価値を高める&課題実行

学習の効果

- ビジネスアーキテクトとして、自組織でDXを推進、展開する手順、関係者との協働の仕方、DX展開ロードマップ作成などの勘どころを習得します。
- 具体的なDX実施例、成功及び失敗例を学び、ビジネスアーキテクトとしての立ち位置と期待、講座終了後に何から取り組むべきかをイメージできます。



実践
応用

- DX推進講座で学んだツールを用いて、5つの課題演習を実施します
- ビジネスアーキテクトとして自組織でDX推進することを想定し、分析とロードマップを作成します

自社組織のDX推進を想定し、現状確認と導入ロードマップ作成

DX10

ビジネスの価値を高める
まとめと課題提出

DXとは

ビジネス価値を高めるDX

効果的なDXの

ビジネスの価値を高める

All Rights Reserved by Raise Management and T&P Solutions
RSDX24_01

DX

企業のビジネスモデル変革
DX推進のレベルをチェック

やってみよう
DX課題演習1

DX デジタルトランスフォーメーション

業務改善 SS, LEAN
アナログ業務を整理
ムラや無駄をなくす
単純化、標準化、自動化

デジタル化推進 (1)
デジタル機器活用
クラウド
情報のデジタル化
(社内向け)

デジタル化推進 (2)
デジタルを活用し
新サービスを提供
利便性向上
(社外向け)

新しいビジネスモデル
AI活用、IoT
Big data活用
自動運転
遠隔医療・教育

自社にあったバイタルチェック (以下は例)

- 継続した業務改善が実行されている
- 必要な情報、データはデジタル化されている
- 社員はデジタル機器やデータを活用している
- 社員は基本統計やデータを扱うスキルを持っている
- 経営層がDXに詳しい
- DX推進部署、担当者がある
- DX実行のロードマップがある

← そう思わない

→ そう思う

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

1 2 3 4 5

All Rights Reserved by Raise Management and T&P Solutions
RSDX24_01

153

DX05

自社のDXをどのように展開するか
自社のDX導入 WHW

やってみよう
DX課題演習3

Why
How
What

DXの実現

Why	・DXをなぜ実現するの ・XXXX
How	・DXをどのように実現するの ・XXXXX
What	・DXで何を実現するの

あなたの会社組織のDX導入 Why, How, What を作成してみよう

All Rights Reserved by Raise Management and T&P Solutions
RSDX24_01

DX05

自社のDXをどのように展開するか
自社のDX導入ロードマップ

やってみよう
DX課題演習4

202X年～202X年

ステップ1
現状を整理、理解

202X年～202X年

ステップ2
DXに向けた準備

202X年～202X年

ステップ3
DX推進(1)

202X年～202X年

ステップ4
DX推進(2)

目指す目標
実行項目など

目指す目標
実行項目など

目指す目標
実行項目など

目指す目標
実行項目など

あなたの会社組織のDX導入ロードマップ
プランを作成してみよう。
ラフなアイデアで結構です。
フォームは使いやすし形に変更ください。

All Rights Reserved by Raise Management and T&P Solutions
RSDX24_01

156

実践 応用

- Before/Afterを1ページでまとめるレポートフォーム（例）
- DX実行の事例を紹介

【お願い】
習得したスキルを活用し、
会社組織のDX活動に
是非ともアウトプットを
示してください

レポートフォーム 例

One pager format のサンプル

Title: 和文タイトル
英文タイトル

SW ID : WWW
Reported date: YYYY.MM.DD

Before:

After:

運用ルール

1. Before / Afterの表記を明確に行う事。
2. 削減コストは日本円、削減時間は時間で表記する事。
3. 2.については、必ず年間ベースの数字とする事。
4. リーダーとメンバーの氏名を記載する。

リーダー	Name (所属部署)	年間削減コスト (日本円)	年間削減時間 (時間)
サポーター メンバー	Name (所属部署), Name (所属部署)	1,234,567円	100時間



認定要件、給付金、講師紹介等

厚生労働省の
「専門実践教育訓練給付金」
および
「人材開発支援助成金」
が利用できます。

最新情報は経産省、厚労省のウェブ
ページでご確認ください。

2024年4月1日より



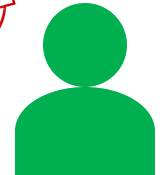
修了認定要件

LSS GB、業務変革とDX推進リーダー育成講座

DFSS GB、プロセスデザインとDX推進リーダー育成講座



ビジネス
アーキテクト



LSS GB
または DFSS GB

修了認定要件（2講座共通）

- ① オンデマンドによる全てのビデオ学習終了、各ステップの確認テスト・終了テストに合格する（必須）
- ② オンラインコーチングを受講する（5回のコーチングを利用可能）^{*1}
- ③ 実践応用、2つの課題提出（K1 シミュレーションプロジェクト課題、K2 DX課題演習）、弊社基準で内容を採点し課題に合格する（必須）
- ④ 講座終了時のアンケート提出（必須）
- ⑤ 講座開始から12ヶ月以内に①～④を全て完了することにより、スキル講座の修了認定とする

^{*1}の補足: オンラインコーチングは講義内容の理解を深めるため、受講者の質問に直接答えるために実施します。コーチング参加は講座修了の必須にはしていませんが、5回のコーチングをうまく活用することは、講座をよりよく理解するポイントです。なおコーチングを利用しないことによる受講費用の減額や返金などは一切ありません。



講座受講費用 専門実践教育給付金等について

厚生労働省の
「専門実践教育訓練給付金」
および
「人材開発支援助成金」
が利用できます。

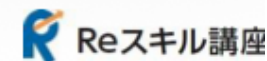
最新情報は経産省、厚労省のウェブ
ページでご確認ください。

2024年4月1日より

・LSS GB、業務変革とDX推進
リーダー育成講座

・DFSS GB、プロセスデザインとDX
推進リーダー育成講座

価格は弊社ウェブページで確認ください。



5. 厚生労働省の教育訓練支援制度等との連携

- Reスキル講座のうち厚生労働省が定める一定の基準を満たし、厚生労働大臣の指定を受けた講座について、労働者等が受講・修了した場合に、その費用の一部が「**専門実践教育訓練給付金**」として支給される。
- Reスキル講座を企業内の人材育成に用いる際に一定の要件を満たした場合、「**人材開発支援助成金**」の助成対象となる。

受講者のみなさま

専門実践教育訓練給付金の支給

- 在職者又は離職後1年以内（出産・育児等で対象期間が延長された場合は最大20年以内）の方が専門実践教育訓練を受ける場合に、訓練費用の一定割合を支給。

給付の内容

- ・ **受講費用の50%**（上限年間40万円）が6か月ごとに支給。
- ・ さらに受講を修了した後、1年以内に雇用保険の被保険者として雇用された又は引き続き雇用されている場合には、**受講費用の20%**（上限年間16万円）を**追加で支給**。
- ・ 上記に加え、訓練前後で賃金が5%以上上昇した方（※）には、**受講費用の10%**（上限年間8万円）を**追加で支給**。※令和6年10月1日以降に受講を開始した方について適用

企業のみなさま

人材開発支援助成金の支給

- Reスキル講座を従業員に受講させた場合、令和4年度から5年間は、人への投資促進コースにおいて訓練経費や訓練期間中の賃金の一部について、通常よりも高い助成率・助成額で助成。

助成率／助成額

- ・ 人への投資促進コース（高度デジタル人材訓練）
経費助成：75%（60%）
賃金助成：1,000円（500円）／
1人1時間あたり

※括弧内は、中小企業以外の助成率・助成額

資料引用先：経済産業省、第四次産業革命
Reスキル講座 2025年10月版より

LSS GB eLearning 講師紹介



井口 幸人 Iguchi Yukihiro

- 外資系医療機器、医薬品、金融会社勤務
- Lean Six Sigma マスターブラックベルト
- 全社のビジネスプロセス変革 (BPR)を統括、推進
- ライズマネジメント株式会社 (2015年設立)



小林 孝 Kobayashi Takashi

- 米海軍基地勤務、部隊全体の改善推進を実行
- Lean Six Sigma ブラックベルト
- 日科技連QCサークル誌編集委員
- 東海大学経営学科非常勤講師
- 株式会社 T&P Solutions (2015年設立)



受講費用、お申し込み～受講開始までの流れ



DX推進リーダー育成講座 受講費用

2025.4.1 現在

	講座名	講座内容	金額（税込）	補足
1	LSS GB、業務変革とDX推進リーダー育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・業務変革手法を基礎から学ぶコースです ・「業務変革の5ステップ（DMAIC）」と「DX推進」の勘どころを習得します ・ビジネスアーキテクトとLSS GBのスキル認証を得られます ・平均受講期間4～6ヶ月（最大12ヶ月） 	1名 198,000円 （税込）	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト送付、オンデマンドのイーラーニング講座（通学がありません） ・全5回のオンライン（グループ）コーチングを利用可能 ・自分がDX推進を担当する場合を想定し、講座の中でDX推進ロードマップを作成します
2	DFSS GB、プロセスデザインとDX推進リーダー育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・業務変革の経験はあり、業務変革+発展的なプロセスデザインを学ぶコースです ・「プロセスデザインの5ステップ（DMADV）」と「DX推進」の勘どころを習得します ・ビジネスアーキテクトとDFSS GBのスキル認証を得られます ・平均受講期間4～6ヶ月（最大12ヶ月） 	1名 198,000円 （税込）	同上



DX推進リーダー育成講座 お申込み～受講開始までの流れ

ステップ 0 お申し込み

- 受講コース、人数のお見積りをご依頼ください。1名様からお申込みいただけます。
- 必要に応じて請求書を発行いたします。お送り先、宛名などご連絡ください。

ステップ 1 お申し込み

- 受講者情報をご連絡ください。弊社より個別問い合わせるか、一括で提供いただくか、ご都合の良い方法で対応いたします。
- 受講者情報：①受講者名（漢字と読み仮名）、②英語名（認定書に記載）、③受講者メールアドレス（受講IDに使用します）、④会社名、⑤所属部署、⑥テキスト送付先（会社 or ご自宅宛て明記、郵便番号と住所）、⑦連絡先電話番号（携帯可）

ステップ 2 お支払い

- 個人様・個別の場合：お申し込み後、指定口座に一括で7日以内にお振り込みください。
- 法人様で一括の場合：社内手続きや口座登録による日数が必要と思われます。振込み期限はご相談ください。

ステップ 3 ID, パスワード 発行

- 当社にてお振り込みと、受講者の必要情報が確認できましたら、[受講者ご本人宛にユーザー（利用者）IDとパスワード、受講ログイン先をお知らせします。](#)
- テキスト一式は、入金確認後、10日以内に受講者宛に発送いたします。（年末年始、休祝日がある場合は、これ以上かかる場合があります）

LSS イーラーニング講座 お申込み～受講開始までの流れ

ステップ 4 受講計画を たてる

- IDとパスワードを受け取りましたら、受講をスタートすることができます。受講ガイドをよく読み、コースの概要を掴んでから受講を始めましょう。
- 当コースの受講期限は、IDとパスワードを発行（メールにて送信）した日の月末から12か月（翌年の同月末）です。

例) 2025年10月10日に IDとパスワード発行の場合
2026年10月30日までが本コース受講の期限となります

- ビデオの本数も多いですが、受講内容、情報量がとても多いです。難しい内容が多々あるかもしれません。はじめにテキストに目を通し、受講計画を立てましょう。
- ビデオの“IN01”にサイト運営基本規約、個人情報規約、特定取引に基づく表記のPDFファイルがありますので、ダウンロードしてお読みください。



お気軽にお問い合わせください

DX推進リーダー育成講座
デジタルアーキテクト LSS/DFSS GB
講座受講に関するお問い合わせ先
elarning@tpsolutions.co.jp



【お問合せ先、会社情報】

ライズマネジメント株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 YK駿河台ビル7階

E-mail : contact@raise-mgt.jp

Website: <http://www.raise-mgt.jp>

株式会社T&P Solutions

〒140-0004 東京都品川区南品川4-4-17

E-mail : info@tpsolutios.co.jp

Website: <https://www.tpsolutions.co.jp>



LSS e-learning

